

万葉集の第一人者奈良大学の上野誠先生とイエール大学大学院からローレン・ウォーラー氏をお招きして、公開シンポジウムを行います。

新元号「令和」の典拠に関しては、既に出揃った感があります。したがって、本シンポジウムにおいては、新たな典拠を探るのではなく、典拠として挙げられている各々の書物を中心に、「令和」との関りを考察します。

万葉集の専門家の立場から(上野、ウォーラー)、典拠とされる漢籍の専門家の立場から(高西)、より広い視野として日本思想史の専門家の立場から(ヨース)、そして、新元号の発表以来、賛否を巡り一連の報道がなされたが、なぜこれほどまでに多彩な意見が提示されたのか、「令和」という元号じたいが内包する問題を炙り出す立場から(東原)と、新元号をめぐる諸問題を多角的に捉え、立体的に論じ、深く考える場を提供したいと思います。

大宰府文学圏の思想 —— 万葉集と令和 上野 誠 (奈良大学教授)

古典を作る、古典を引用する ——『萬葉集』と「初春令月 気淑風和」を考える ローレン・ウォーラー (イエール大学大学院生・元高知県立大学准教授)

元号と『文選』——日本に於ける『文選』受容と関連して 高西成介 (高知県立大学教授)

政治権力と時間——日本と世界の歴史思想を比較して ヨース・ジョエル (高知県立大学教授)

元号の常套と「令和」の特異性 ——韻文ではない散文の意味生成 東原伸明 (高知県立大学教授)

● 総合司会 田中裕也 (高知県立大学講師)

日時

令和元年(2019) 10月26日(土)

13:00~16:00(開場12:30)

会場

高知県立大学永国寺キャンパス
教育研究棟 1階A101講義室

* 永国寺キャンパスには駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用願います。

シンポジウム 新元号 令和 の典拠を考える —— 万葉集の散文学 ——

■ 主催 高知県立大学文化学部 ■ 共催 高知県立大学地域教育研究センター

■ 後援 高知県教育委員会・高知市教育委員会・オーテピア高知図書館(高知県立図書館・高知市立市民図書館)・高知新聞社・RKC高知放送 KUTVテレビ高知・高知さんさんテレビ・NHK高知放送局・高知県立文学館・公益法人高知市文化振興事業団・土佐史談会

■ 協賛 武蔵野書院

おかげさまで創業100周年

武蔵野書院 The 100th year anniversary publisher from 1919

お問い合わせ先

高知県立大学
<http://www.u-kochi.ac.jp/>

〒780-8515

高知市永国寺町2番22号 高知県立大学 永国寺キャンパス 文化学部事務室

☎ 088-821-7175 FAX 088-821-7197